



西武から5位指名を受け、ガッツポーズで意欲をみせる八戸大
・田代＝27日午後7時20分ごろ

田代(八戸大)は西武5位

「走攻守そろった選手に」

西武から5位指名を受け、思を明言し、「開幕1軍」を目標として頑張ります。外野手は27日夜、同大でもっと成長し、走攻守の記者会見、西武入団の意三拍子そろった選手にな

りたいと抱負を述べた。西武の印象は「若い選手が多く明るいイメージ」。八戸大の1年先輩・秋山翔吾外野手が在籍しており、「秋山さんの技術面や精神的な強さを手本にしたい」と語った。ドラフト会議での指名

は、大学の寮でインターネット速報で知ったという。自分の名前が画面に出た瞬間は「信じられない」といふ思いと、育ててくれた両親への感謝の念でいっぱいになった。北海道石狩市に住む父隆さんに電話し、喜びを伝えた。チームの4強入りに貢献。北東北大学野球連盟リーグで2年春・秋、4年春の計3回ベストナイン賞に輝いた。4年秋は10試合9打点で最多打点賞を受賞。50打点5秒8の俊足。178センチ、75キロ。左投げ、左打ち。21歳。

えた。受話器を通して、父のうれし泣きが聞こえたという。大学4年間で一番の思い出は、昨年6月の全日本大学野球選手権準々決勝の延長14回に放った、右翼ポール直撃のサヨナラ本塁打という。一方で「これから厳しい世界に入る。早くプロ野球(投手)の球を体験したい」と気を引き締めた。また、同大野球部の正村公弘監督は本紙取材に「とにかく良かった一言です。早く『上の世界』の水に慣れて、けがをしないようにし、認めてくれた球団に恩返しするよう全力で頑張ってください」と話した。(高木圭一)